

レジメン番号	レジメン名	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	投与日	1コースの日数	催吐リスク	備考
C22-1	肝細胞がんRAM	ラムシルマブ	8 mg/kg	点滴静注	初回60分 2回目以降30分	Day1	14日	最小度	AFP400ng/mL以上が対象
C22-2	肝細胞がん ATEZO + BEV	アテゾリズマブ	1200 mg/body	点滴静注	初回60分 2回目以降30分	Day1	21日	最小度	
		ベバシズマブ	15 mg/kg	点滴静注	初回90分 2回目60分 3回目以降30分	Day1			
C22-3	肝細胞がんDUR + TRE	デュルバルマブ	1500 mg/body	点滴静注	60分	Day1	28日	最小度	2回目以降はDUR単剤
		トレメリムマブ	300 mg/body	点滴静注	60分	初回 Day1			
C22-4-1	肝細胞がんNIVO + IPI	ニボルマブ	80 mg/body	点滴静注	30分	Day1	21日	最小度	5コース以降はNIVO単独投与
		イピリムマブ	3 mg/kg	点滴静注	30分	Day1			
C22-4-2	肝細胞がんNIVO	ニボルマブ	240 mg/body	点滴静注	30分	Day1	14日	最小度	
C22-4-3	肝細胞がんNIVO	ニボルマブ	480 mg/body	点滴静注	30分	Day1	28日	最小度	

催吐リスク 分類	高度リスク	90%を超える患者に吐き気が発現する	NK1受容体拮抗薬、5HT3拮抗薬、DEX併用
	中等度リスク	30～90%の患者に吐き気が発現する	5HT3拮抗薬、DEX併用
	軽度リスク	10～30%の患者に吐き気が発現する	DEX
	最小度リスク	吐き気が発現しても10%未満である	制吐薬なし